

市長から市民のみなさんへ

87

山陽小野田市長 白井 博文

あけましておめでとうございます。

市民のみなさまにとって、実りある 2009 年になりますようご祈念申し上げます。

ごみ出しのルールが変わりました

新しい年がはじまりました。お正月休みは、離れて暮らすご家族との久しぶりの再会、旧交を温める機会など、楽しいひとときを過ごされたことと思います。

そして、この号がお手元に届く頃には、ほとんどの方が日常生活に戻られているのではないかと思われますが、市民のみなさんの生活にいちばん身近な「ごみ」について、早速、1 月から新しいごみ袋の使用を、また、お手元に残った旧指定ごみ袋については、証紙シールをご購入いただき、貼り付けた上での使用をお願いすることになりました。ご面倒をおかけすることになりますが、ご協力をお願いします。

新しいごみの指定袋の使用については、これまでも広報紙などを通じて、PR に努めてきたつもりですが、若干の混乱が生じていると聞いています。ごみの減量化、市

をあげての地球温暖化防止への貢献といった趣旨をご理解いただき、「ルールを守ってゴミ出しをお願いします」と市長として再度、呼びかけをさせていただきます。

「夢のあるふるさとづくり」

基本目標に「活力ある住み良さ創造都市」を掲げ、昨年、策定した総合計画に基づいたまちづくりも 2 年目を迎えます。「財布の中身」が豊かではなく、効果的な事業を厳選していかざるをえない状況は変わりないのですが、財政指数の改善を受けて、赤字対策の善後策に終始した昨年までとは違った、「夢のあるふるさとづくり」への流れのようなものをこの一年で作り出すことができるのではないかと期待しています。

具体的には、新市になってから「封印」していた合併特例債の活用があげられます。市民のみなさんと合意形成を図りながら、計画づくりに着手していきます。

もう一点は、定住促進対策です。生まれる前の子どもから、高齢者までが「山陽小野田市で暮らしてよかった」と感じていただけるような施策の実現に向け、力を入れていきたいと考えています。行政の様々な分野を横断的に網羅していく必要があり、難題には違いありませんが、まさに「住み良さ創造」に直結する大きな課題に対して、柔軟かつ大胆なアイデアをもってチャレンジする決意を胸に抱いているところです。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



1月 8日(木)大休団地自治会館

1月22日(木)下村東公会堂

「再就職支援窓口」

を設置しました

世界的な金融危機や円高等による景気の悪化の中、市内企業の業況の調査等をするなかで、派遣労働者等を対象とした雇用調整に伴い、離職を余儀なくされた労働者が今後とも増加することが懸念されています。

そこで、雇用にかかる施策の総合調整を行うため、市長を本部長とする「山陽小野田市緊急雇用対策本部」を設置し、雇用支援にかかる総合調整を行うとともに、再就職支援窓口を商工労働課内に開設し、離職者等に対する雇用情報の提供や融資相談などの再就職等の支援を行っていきます。

【設置箇所】 商工労働課 (☎ 82-1150)

【業務】 離職者等に対する求人情報の提供や融資相談(離職者資金等の相談)等

